

2021年2月18日

長野県感染対策研究会
代表世話人 本田孝行
長野県臨床検査技師会 感染対策委員会
担当者 堀内一樹

信州インфекションコントロール・サーベイランスシステム(SICSS)
による長野県各地区の耐性菌分離状況についての報告
～2021年1月データについての報告～
(データ集計日：2021年2月18日 集計対象施設数：61施設)

2021年1月のVRSA、VRE、多剤耐性アシネトバクターの分離はありませんでした。上記に示す薬剤耐性菌は感染対策上、非常に重要な耐性菌です。疑わしい株が分離された場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

<MRSAの分離状況について>

長野県全体の分離率は7.35%でした。JANISでの全国の分離率は6.21%（2020年7月-9月四半期報）であり、全国と比較し分離率が高い状況です。東信地区で分離率が低下しましたが、中信地区および南信地区で分離率が上昇したため、県全体では分離率が上昇しています。

<多剤耐性緑膿菌の分離状況について>

2021年1月は1例も分離がありませんでした。JANISでの全国の分離率は0.03%（2020年7月-9月四半期報）です。なお、1例でも分離が認められたご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡申し上げます。

<第三世代セファロスポリン耐性大腸菌の分離状況について>

長野県全体の分離率は3.01%でした。東信、中信地区では前月に比べ分離率が低下し、北信地区で増加しています。JANISでの全国の分離率は3.73%（2020年7月-9月四半期報）でした。JANISで2015年集計分より用いられている第三世代セファロスポリン耐性大腸菌の判定基準よりも、SICSSでの判定基準の方が厳しく設けられているため、これらのデータは一概に比較はできません。なお、同一病棟または診療科から3例以上分離されているご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡申し上げます。

耐性菌検出検査やSICSSデータ等につきまして、ご不明な点などございましたら下記担当者までお問合せください。

【SICSSのデータを用いた学術活動について】

SICSSのデータを用いて学術活動（学会発表や論文執筆など）を行う際には、必ず下記担当者までご相談下さい。また、学術活動の成果物の提出にもご協力をお願いいたします。

問い合わせ先 信州大学医学部附属病院 臨床検査部 堀内 一樹 TEL; 0263-37-3493、 e-mail; hori9000@shinshu-u.ac.jp
--